婦人服エニーズと提携

銀座山形屋

「ミスターナ」の販売を外部に委託する

スーツネット通販

来年、新ブランド開発

紳士服店の銀座山形屋は自社ブランドの婦人オーダースーツの販売で、婦人服店エニーズ（大阪市）と提携する。11月から一部商品の販売を委託、来年には婦人スーツ新ブランドを共同開発する。銀座山形屋が得意とする中高年男性向けオーダースーツは団塊世代の定年退職などで市場が縮小しており、他社との連携で、婦人スーツの販売力の早期強化を目指す。

銀座山形屋の「ミスターナ」は婦人服でネット通販にスーツ注文方式を確立、新規客層を掘り起こす。取り組むのは初めて。20～30代女性から人気を集めるエニーズの販路を活用し、簡易なオーダー製しており、エニーズへの委託で販売が伸びれば、工場稼働率も上向く。

今後はエニーズの既存ブランドの一部に加え、来年発売予定の共同開発ブランドの生産も手掛け、婦人スーツの生産効率を高める考えだ。

将来はエニーズからノウハウの供与を受け、銀座山形屋独自の婦人スーツ通販サイトも立ち上げる。足元の収益は低迷しているだけに、ネット活用で大きなコストをかけずに新規分野である婦人スーツの事業展開を加速する。

一方、エニーズ側は中高年女性に対応できる銀座山形屋の商品を品ぞろえに加えることで、若年女性以外への客層拡大を狙う。銀座山形屋の国内工場や素材調達網を活用することで、消費者の要望により細かく応えることも可能になるとみている。

大手企業の寡占化が進むスーツ市場で、両社の連携がどこまで効果を発揮するか、他の中堅以下の衣料専門店の注目も集めそうだ。